

食品ロス削減を目指し、地元貢献



「ecoeat」神戸学が丘店の川脇龍二さん

賞味期限が迫り、廃棄される予定の食品を買い取り、販売する食品ロス削減ショップ「ecoeat（エコイート）」。

垂水区で神戸学が丘店を営む川脇龍二さんは、ラジオをきっかけに食品ロスの問題に興味を持ちました。「ラジオに出演していたエコイートのFC本部であるNPOの代表が、偶然にも中学校の同級生でした。食品ロスを減らし、社会貢献につなげるという理念に共感し、自分もやってみたいと思いました」

出店場所を探す中、子ども時代を過ごした学が丘の空き物件を紹介されたとか。「元はクリニックだったので、レイアウトを全面変更し、トイレの改修や床の張り替えなど、改装は大がかりで、補助金ありがたい存在でした」と笑顔で話します。

周囲に市営住宅などが立ち並ぶ立地だからこそ、大々的に告知せずとも、「近くにこんな店があったんだ」と近隣住民が立ち寄ってくれと、住宅地で出店する魅力を話します。「自分が育った街に貢献できることはやりがいです」